

## 障害者用

### 駐車スペースの意味を知ってください



最近、上の写真にあるようなシンボルマークが描かれた駐車スペースをよく見かけるようになりました。この駐車スペースは、車いすを利用する人が車からの乗り降りを容易にできるように、間口が広くとられています。

しかし、せっかくの駐車スペースも、健常者が占拠してしまつては意味がありません。皆さんの中にも、右隣に駐車した車と自分の車との間が狭く、助手席から出入りした経験をお持ちの人も多いことでしょう。車いすを使用する人の場合だと、入ることはもちろん、出ることもできません。車いすの人のための駐車スペースの必要性をご理解ください。

こうした駐車スペースを作ることも人にやさしい街づくりですが、市民の皆さんが作られた意味を知り、マナーを守ることこそが人にやさしい街づくりではないでしょうか。

③②に掲示した「活動」に対する具体的な要望は次のとおりです。

健康	社会参加	趣味・娯楽 (生涯学習関係)	スポーツ	活動分野
ヘルストロン・肩揉み器	社会見学・ボランティア活動・互助活動	旅行 絵画・書道・囲碁・将棋・舞踊・手芸・料理・園芸・カラオケ・コーラス・ワープロ・パソコン等の教室	ゴルフ・サッカー・ウォーク	ゲートボール・ペタンク・グラウンドゴルフ・水泳・スキー・ソフトボール・ゴルフ・サッカー・ウォーク

②「活動」の具体例

活動内容



- ・万歩計の貸出制度をつくり、歩数記録帳をつけて貸し出す。
- ・スポーツ活動の施設や用具を整備する。
- ・地区別（少人数）の生涯学習講座を設け、講師が地区に出向く出前型サービスを考える。
- ・高度な講座でなくともよいので、簡便な基礎的知識を修得できる講座を開催する。

### 情報を知るためには：

- ・講師の登録、公開制度を設け、受講者の要望により講座を開設したり、受講者が直接交渉できる制度を設ける。
- ・高齢者の移動手段確保のためバスの無料乗車券を配布し、市民病院等の公共施設、福祉施設への交通網を整備する。

行政情報を知る方法としては、広報や回覧、新聞折り込みチラシなどがあり、情報量が不足しているとは思いません。ただ、行政情報は市民全般を対象としてつくられているため、高齢者のための情報がその中に紛れてしまい、分かりづらくなっています。そこで次のとおり提案をします。

### (1) 広報について

①「高齢者向けページ」をつくり、高齢者向けの情報をまとめて掲載する。

②「高齢者向けページ」は、活字を大きくし、外来語の使用を避ける。

### (2) 回覧・折り込みチラシについて

①「高齢者必読」のような注意書きを入れ、高齢者が読む必要がある旨を伝える。

②一つのチラシに情報が多すぎると、高齢者に係わる部分を抜粋して粹で囲むなどの工夫をする。

### (3) 高齢者向けの情報について

高齢者向けである旨の統一マークを作成し、常時使用する。

### 虚弱高齢者対策は：

(1) 高齢者向けの施策を充実し、その施策や利用者数を広報の「高齢者ページ」等で繰り返し伝え、施策の普及を図る。

(2) 養護老人ホームや特別養護老人ホーム「眺海園」の訪問活動など「草根運動」的な活動の実態を把握し、その輪を拡げるよう努力する。

(3) 元気な高齢者がその地区の虚弱高齢者を訪問する「声かけ運動」を制度化し、地区の互助組織を育成する。